

事例 2

社員の成長を促す環境を整備、 新たな加工技術を開発して新市場を獲得

(株)武井製作所

トラックや各種産業機械の部品加工が主力の(株)武井製作所(千葉県松戸市)。CASE(コネクテッド、自動運転、シェアリング、電動化)に代表される自動車の高機能化や多品種少量の製品が増加するなか、受注する部品形状や数量の多様化に対応するため、独自の加工技術の確立と生産性の向上に取り組む。NC複合旋盤やデジタルツールを導入して業務改善も進め、加工技術と現場の技能、生産性向上の全方位で競争力を持ったサプライヤーになるために挑んでいる。

会社概要

会社名 (株)武井製作所
所在地 〒270-2221
千葉県松戸市紙敷 1567
TEL 047-392-3177
設立 1948年
代表者 代表取締役 武井哲郎
従業員数 30名
事業内容 複合旋盤やセンタレス研削機、ねじ転造盤での金属部品製造

VA/VE提案で加工コストを最適化

同社は1948年創業。ミシンの部品の製造販売を行っていた。現在はNC複合旋盤やセンタレス研削盤での加工を基盤技術とし、商用車の機能部品や建設機械の油圧部品、産業機械、医療機器、航空機などの部品製造を手掛けている。なかでも建設機械向けピストンやシャフト、リテーナー(軸受)、トラックのエンジン関連部品(写真1)の加工が主力で、顧客から厚い信頼を得ている。支給される図面に対し、VA/VE提案を行い、顧客企業が気づかない過剰な管理項目の改善を提案し、リードタイム削減や製品コストの最適化を支援してきた。

支給を受けた図面に対してそのまま加工するのではなく、材質や形状、機能に見合った熱処理や表面処理に加え、NC複合旋盤による工程集約や製品形状の簡素化まで提案する。武井哲郎社長(写真2)



写真1 商用車や船舶関連の部品を手掛ける



写真2 武井哲郎社長